

# Pearl to raise

～真珠の輝きで吉田に光を～



## 建設予定地

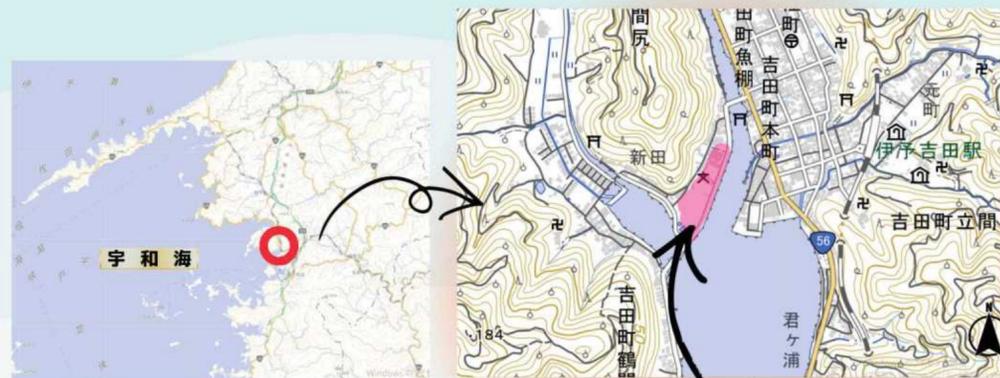
### 進む少子化

建設予定地は宇和島市吉田町である。現在、宇和島市では少子化の進行に伴う学校再編が進められている。対象地区は旧宇和島地区、吉田地区、三間地区、津島地区である。

### 使われなくなる校舎

吉田地区に所在する5つの小学校が一枚に統合された、これにより、廃校となった、校舎が未活用の状態となっている。

設計の建物は廃校となった宇和島市立吉田小学校跡地を建設予定地として活用し、吉田地区の活性化を意図している。小学校跡地を利用することで、地域の子どもたちが親しみを持って訪れやすく、地域住民にとっても利用しやすい場となると考える。



宇和島市吉田町 元吉田小学校

## 吉田町と真珠の関係

### 環境

宇和島市吉田町は、日本の真珠養殖と深い関わりをもつ地域である。吉田町は宇和海に面しており、波が穏やかで水深があり、潮通しが良いという自然条件に恵まれている。このような環境は、真珠をつくるアコヤガイの成長に適している。

### 歴史

明治時代から大正時代にかけて、日本各地で真珠養殖が始まった。吉田町でも養殖技術が導入され、地元の漁業者によって真珠養殖が本格化した。特に宇和海で育てられた真珠は品質が高く、国内だけでなく海外でも評価されるようになった。

戦後になると、真珠養殖は吉田町の主要な産業の一つとなり、漁業収入の安定や雇用の創出につながった。また、真珠の選別や加工、販売などの関連産業も発展し、地域の経済を支える重要な役割を果たした。

### 受け継がれる伝統

現在は様々な課題があるが、吉田町周辺では高品質な国産真珠づくりが続けられており、伝統的な産業として今も受け継がれている。このように、吉田町と真珠は、自然環境と人々の努力によって築かれてきた、地域の歴史と産業を象徴する関係である。

## 【設計趣旨】

### 背景

愛媛県の水産業を代表する真珠産業は、現在さまざまな課題に直面している。若者の都心部への流出による少子高齢化や人口減少により、担い手の高齢化や後継者不足が深刻化している。また、気候変動による海水温の上昇や魚貝類の病気の発生により、アコヤ貝の大量死が起こるなど、生産環境も厳しさを増している。さらに、長年培われてきた技術や知識の継承も重要な課題となっている。



宇和島市の人口推移



愛媛県は生産量は全国1位だが、どの県も減少傾向にある。

### 課題

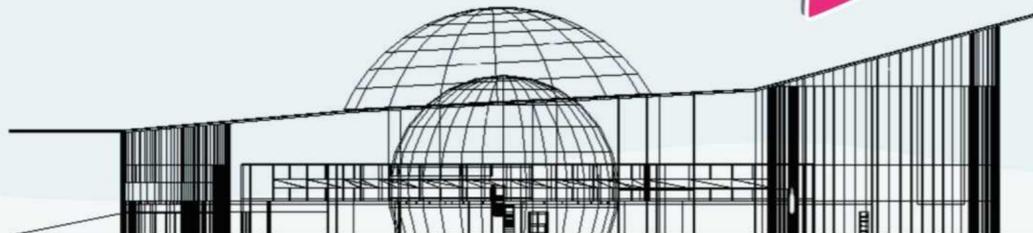
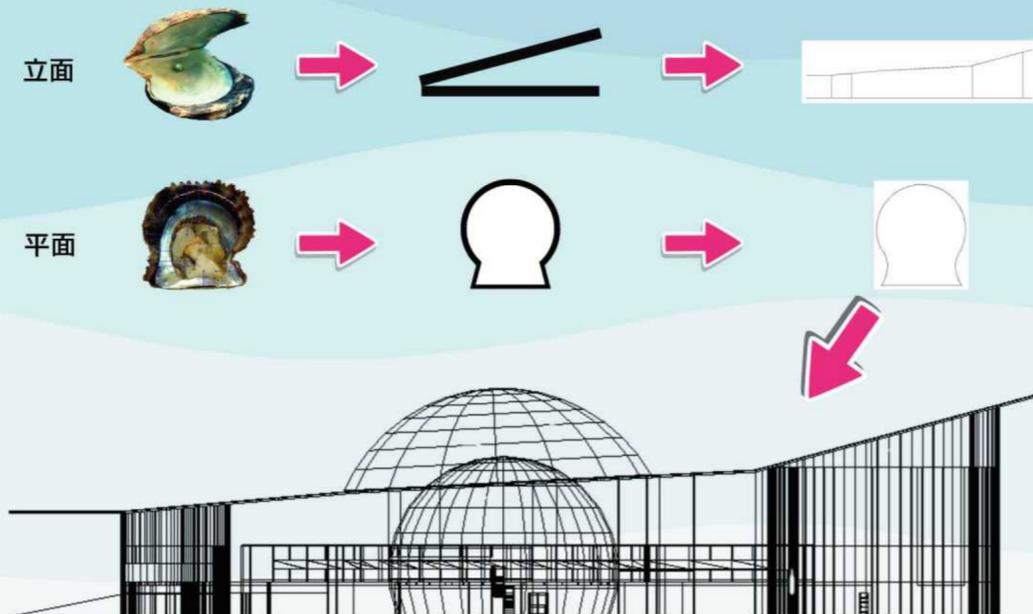
特に後継者不足の背景には、「収入が不安定で将来の見通しが立てにくいこと」「家族経営を中心とした小規模事業が多く、外部から新規参入しにくいこと」「職業としての魅力や認知度が低いこと」などが挙げられる。

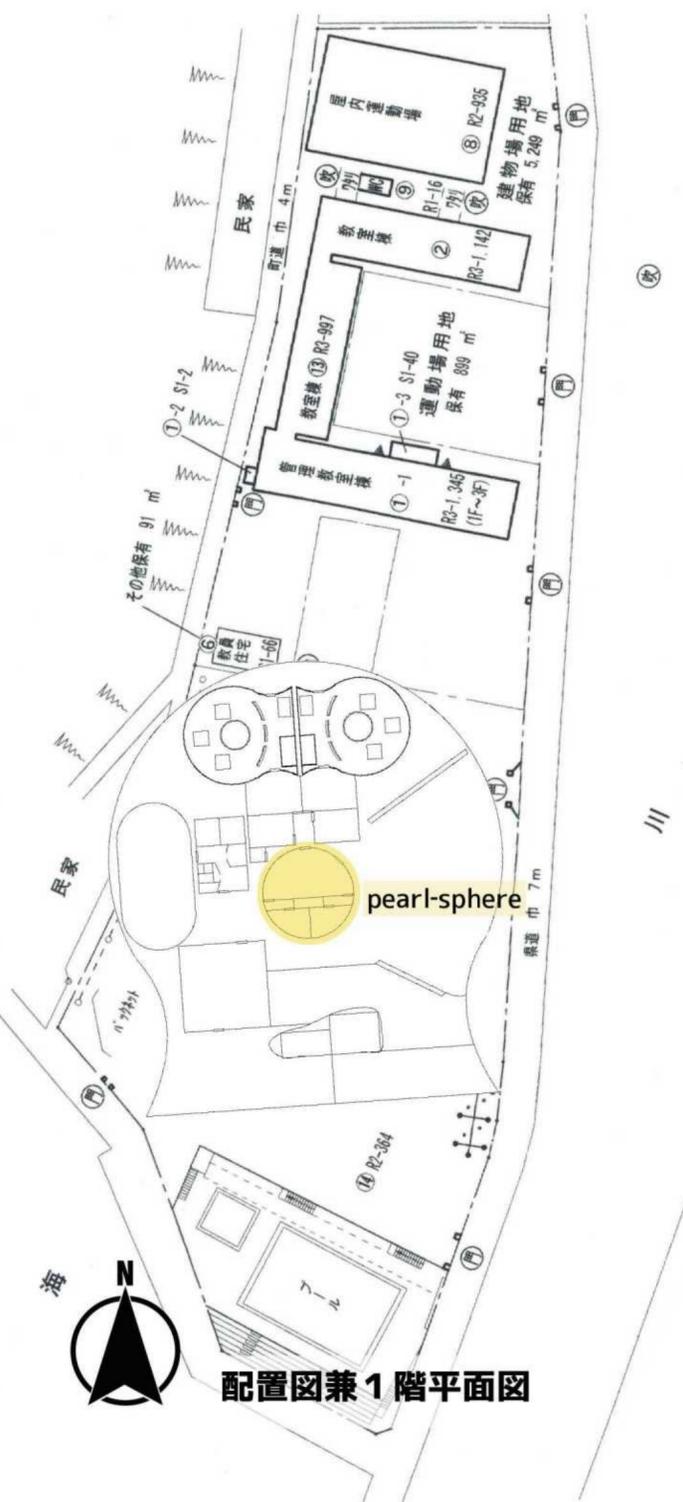
### 提案

こうした状況の中で、宇和島市の真珠産業を今後も継続・発展させていくためには、真珠について地元の人々や観光客が手軽に学び、体験できる場を創出することが有効であると考えられる。

真珠を養殖して収穫し安定した収入が得られるまで3～4年かかる。その間の安心した生活ができる施設を置き、吉田での生活を体験し、吉田の良さを知ることでそのまま吉田に根付いてもらいたい。また、移住や観光で来た人が楽しめる施設を併設することで多くの人へ真珠産業の魅力を発信し、理解と関心を高めてもらうことが出来ると思い、この建築物を設計した。

### 【アコヤ貝の見た目を元に建物の形の参考に】



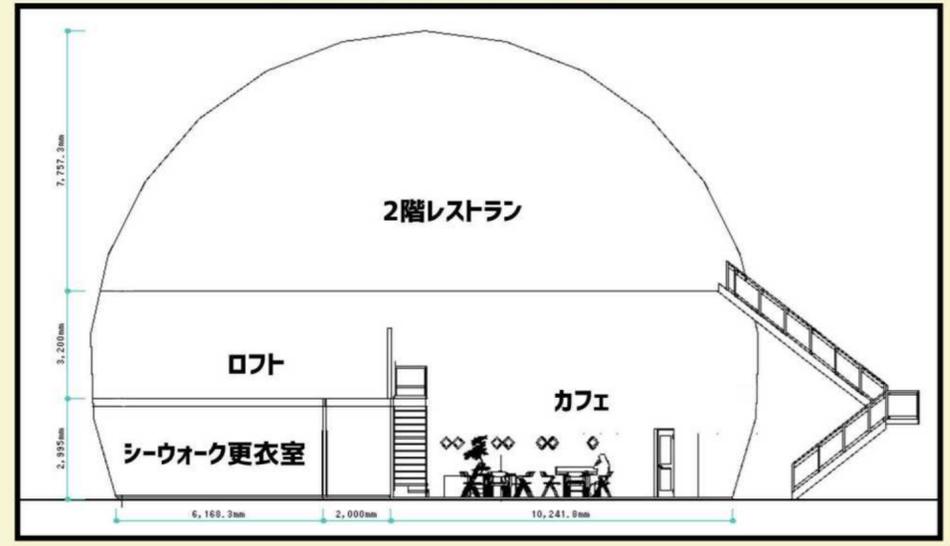


配置図兼1階平面図



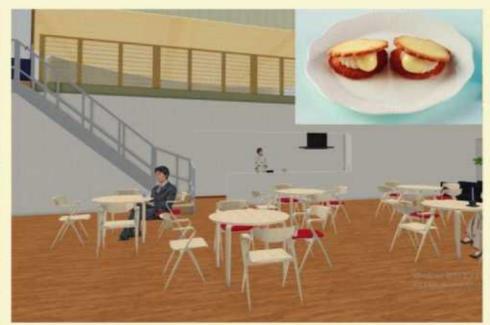
2階平面図

pearl-sphereの断面図



レストラン

真珠を採取する際に生まれる副産物のアコヤ貝の貝柱を使った様々な料理を楽しむことができる。  
夜は夜景を観ながら食事をできる。



カフェ

飲み物から真珠をモチーフにした菓子もあり、温泉や学習スペースからスムーズに来れるので湯上がりに水分補給ができる。  
カフェの机で勉強や遊び等でゆっくりできる。

## 真 pearl-sphere

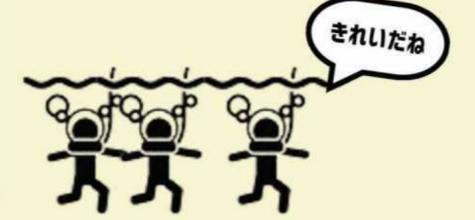
pearl-sphereは、体験型アクティビティの拠点である。  
複数のアトラクションで楽しんだ後は、カフェやレストランでゆっくりとした時間を過ごすことができる。  
ロフトは畳の敷かれた広い空間となっており自由に寝転んでリラックスできる。

### シーウォーク更衣室

更衣室でウェットスーツに着替え学習スペースの下を通って海に行く。  
シーウォークをし実際にアコヤ貝を養殖している姿をみる。  
海に入り実際にアコヤ貝の養殖を歩きながら見て体感することで現在おかれている環境を知ることができる。

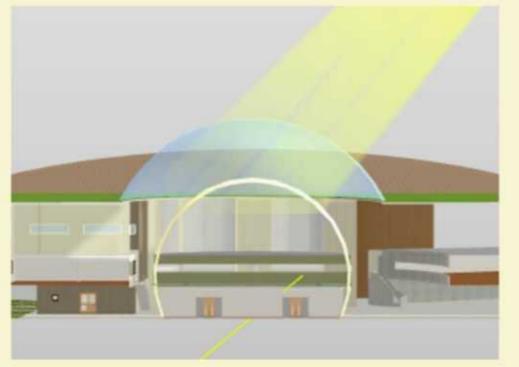


養殖しているアコヤ貝を間近に実感！



### 屋根ドーム

全面を屋根にし、建築物を覆ってしまうと北側と西側の空間に光が入ってこなくなってしまうが屋根の中心に穴を明けガラスにすることで、光を取り入れ、日中はpearl-sphereを輝かせる事が出来る。ドーム状にすることでpearl-sphereを包み込む形状とした。  
また、夜は美しい星空を眺めることができる。



## 長年培われてきた技術や知識の継承

### 技 真珠加工体験

#### 世界に一つだけの真珠

真珠は自然と人が育て創り出す宝石でアコヤ貝から真珠を取り出すまで大きさや形、色が分からない。  
ここでは、自分が選んだアコヤ貝から真珠を取り出すとともに、アクセサリー加工する体験ができる。  
取り出された真珠には、ヌメリなどの不純物があるので取り除くために研磨機での研磨・水洗いなどの細かい作業も行い、伝統技術を体験してもらう。

#### 真珠加工体験



#### 学習スペース



### 知 学習スペース

アコヤ貝に関するトラブルなどへの対処法を学べる。  
地元の人々も気軽に来て真珠について詳しく学ぶことができる。

#### 図書室

町の図書館として誰でも利用できる。  
真珠に関わる海や水産業、吉田に関わる歴史や地理などの幅広い分野の図書を置いて多くの人々に知識を継承する。

#### 自習机

海側に個人で自由に利用できる机を置き窓から吉田湾を見ながら本を読むことができる。

#### 多目的室

図書室では大きな声を出しづらいと考え、友達と談笑できる部屋を置き抵抗なく本を読める。

### 温泉

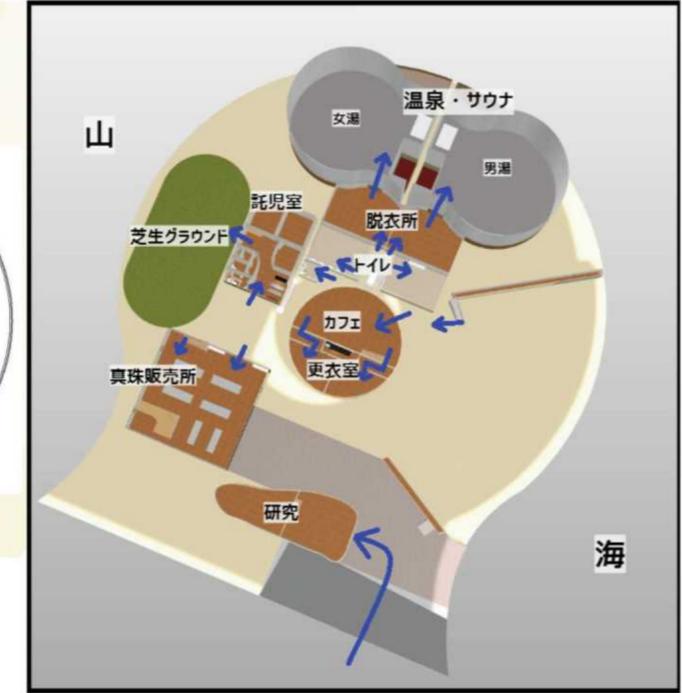
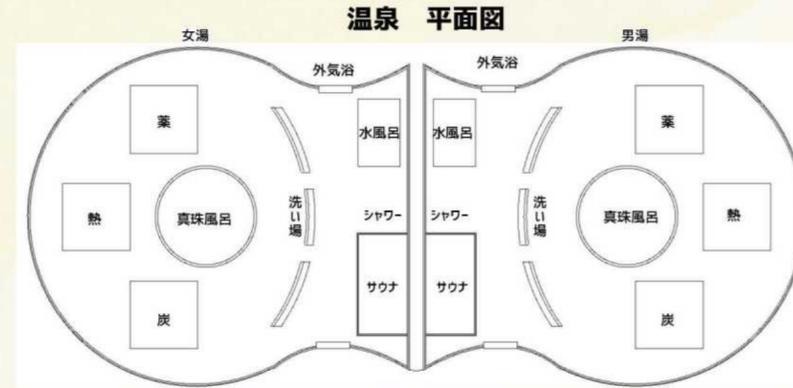
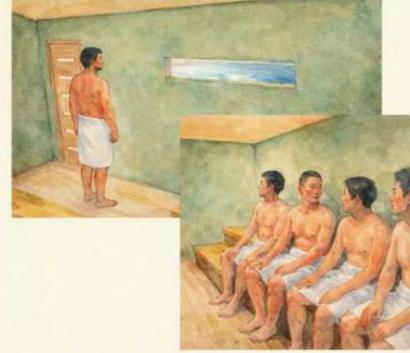
学習や遊び体験での汚れを綺麗にし、疲れをいやすしてもらうために温泉を設けた。

温泉のお湯は真珠パウダーを使用し、真珠の装飾品としての利用以外の使い道をアピールする。

#### サウナ

- 真珠のアロマオイルのミストサウナ
- アコヤ貝の貝殻水風呂
- 海風外気浴

真珠だけではないアコヤ貝の魅力で癒す



1階における人の流れ

### 託児施設

子供と一緒に観光に来た人にもゆっくり真珠体験をして欲しいので子供を預けられる施設を建てた。

託児施設には真珠の絵本の読み聞かせやボールプール、アコヤ貝に絵を描く体験などがある。



### 芝生グラウンド

託児施設の前には全面芝生のグラウンドがあり、屋根の下にあるので雨が降っても気にせずに遊ぶことができる。



託児施設 芝生グラウンド 平面図

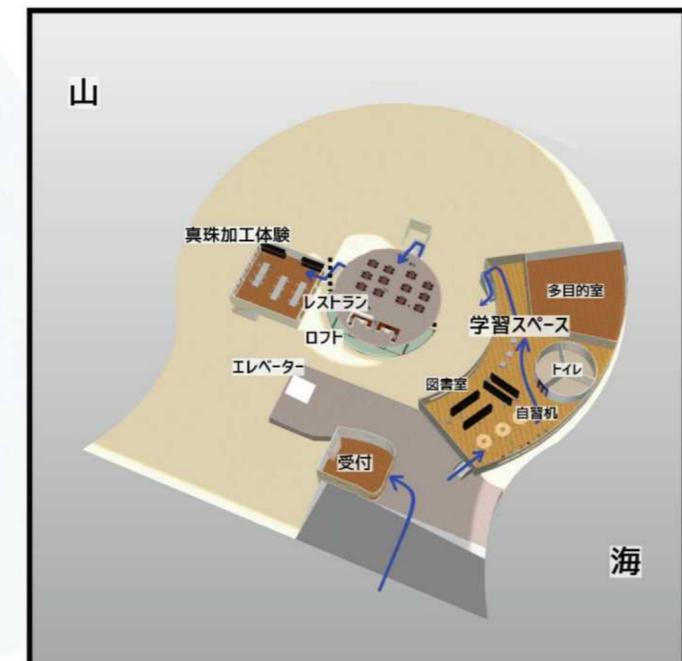
### 真珠販売所

#### 手頃に真珠を

研修生が育てたアコヤ真珠を手頃な価格で販売することで研修生の収入が安定する手助けになる。

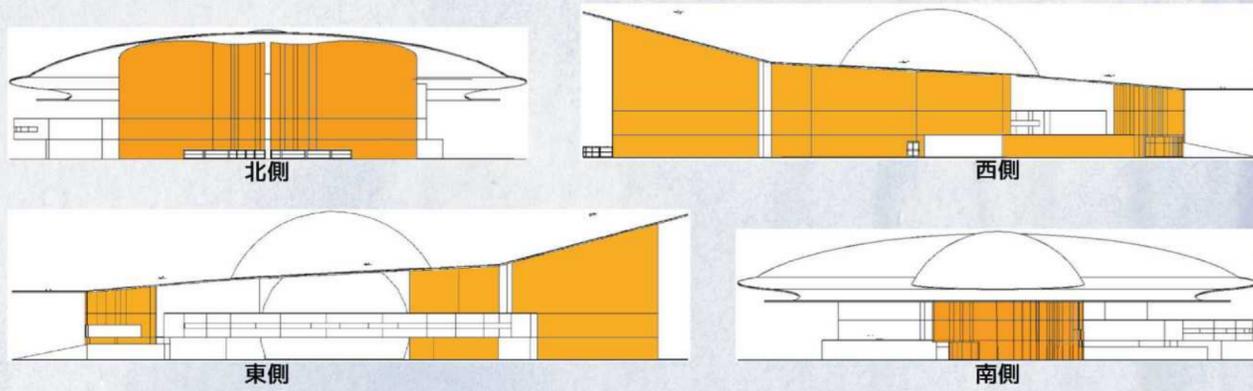
#### 世界に吉田の真珠を

吉田産の高品質な真珠やアクセサリーを購入することができる。



2階における人の流れ

## 屋根は柱ではなく壁で支えている



### 壁で支えることで構造が安定しやすく耐震・耐風に強い

- 壁全体で荷重を受けるため、力が面で分散される。
- 地震や風による横揺れに対して、柱+梁より剛性が高くなりやすい。

### 災害に強い

高潮や津波や30年以内に起きる可能性が高い南海トラフ巨大地震などの非常時にシェルターとして機能させるために、強固な壁式構造を採用している。

## 吉田の植生に触れる

### 屋上には吉田に関わりのある草木が茂っている

吉田町は急傾斜地と宇和海沿岸に位置するため、石灰岩地特有の植生や広葉樹林が混在。暖帯～亜熱帯性植物と、コナラ・カシ系萌芽林の多様な森林植生が確認される。みかん王国愛媛の中でも、八幡浜・西宇和地域と並ぶ屈指のみかん産地であり、愛媛みかんの発祥地でもある。



#### 町花



ミカンの花

#### 町鳥



ミカンを食べるメジロ



## 廃校を利用

### 校舎

#### 泊まる・住む

現在建っている校舎を改装し観光客の宿泊施設とし研修生には宿舎として利用される。

Pearl to raiseが隣接しているので勉強や仕事、体験で疲れても早く休むことができる。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
真珠母貝生産	1年目 稚貝の生産		稚貝の育成									
2年目	母貝の育成										出荷	
3年目	抑制		核入れ		養生		本養殖					
4年目	浜揚げ		当年物真珠		本養殖						浜揚げ	

### 支援

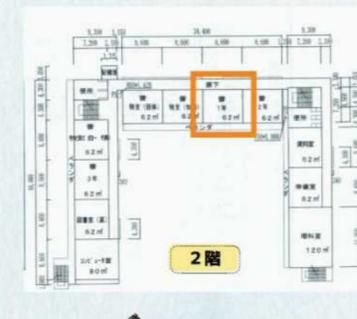
アコヤ貝を育て真珠を生産し安定した収入を得るまで3～4年かかる。そこでアコヤ真珠の養殖研修生に宿泊場所として貸し出す。

### 狙い

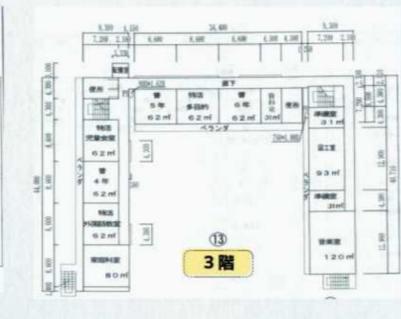
この3～4年で吉田で暮らすことに慣れてもらい、吉田に移住し今後も吉田で暮らして貰おう。



1階は観光客が利用するホテル

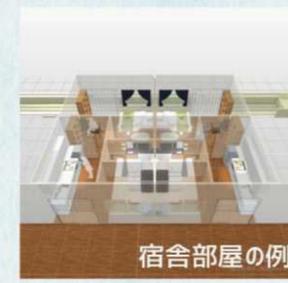
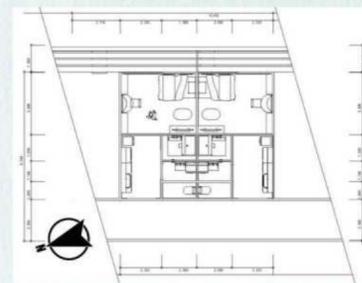


2・3階は研修生に貸し出す宿舎



### 教室を二分割

教室の広さが62平米なので、そのまま二部屋に分けることで、約30平米の個室が完成する。一人暮らしでも広々とした快適な生活を営める空間となる。



宿舎部屋の例

### プール

プールとして利用されていたアコヤ貝の稚貝を培養するタンク培養所として利用する。



### 体育館

研修生の繋がりを強めるためのレクリエーションを行う際に使用できる。

災害時は吉田地域の避難所として利用できる。